

中小支援、都内に商談拠点

城南信金「仕事おこしプラザ」開設



城南信用金庫の「よい仕事おこしプラザ」で開かれた、地方企業の担当者と大手百貨店バイヤー（左下）のリモート商談会＝3日、東京都大田区

城南信用金庫（東京）は3日、全国の信金とその取引先企業が商談会などに活用できる「よい仕事おこしプラザ」を東京・羽田空港近くの羽田イノベーションシティに開いた。中小企業

の販路拡大に役立ててもらう。

3日は新型コロナウイルスの感染を受けて、インターネットによるリモート商談会を実施。福島県いわき市のチョコレート店や長崎

県諫早市のカステラ店が、大手百貨店のバイヤーに商品売り込んだ。

このほか、東京の研究施設・設備の専門メーカーと中小企業の対面商談会には、三島信用金庫（静岡県）の取引企業も参加。山口県宇部市は企業誘致を狙い、移住支援策を紹介した。

城南信金は全国の信金のネットワークを生かして地域経済の活性化を目指す「よい仕事おこしフェア実行委員会」の事務局を務める。城南信金の川本恭治理事長は「全国の信金、企業、自治体の皆さんにこの場を使ってもらい、コロナ禍の中でも助け合っていきたい」と話した。

県内では、大垣西濃信用金庫（大垣市）、高山信用金庫（高山市）が城南信金と業務提携協定を結び、実行委に入っている。